

平成27年度 第1回公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成27年6月26日(金) 10:00~12:30
- 場 所 公立鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、三野徹委員、小林慎太郎委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、
今井正和委員、千葉雄二委員
角紀代恵委員、木下法広委員、田中仁成委員、常田禮孝委員
[11名/14名]
- 欠席者 岡田昭明委員、中島廣光委員、山本仁志委員

【議事】

- 1 前回議事要旨の確認
原案のとおり了承

- 2 審議事項

- (1) 平成26年度業務実績について

資料に基づき説明があり、中期計画に対する評価内容について審議の上、原案のとおり承認された。

【質疑応答】

- ・評価は何のためにするか、ということ踏まえ、もう少しメリハリをつけた評価になるように努力していただきたい。
- ・もう少し評価項目を絞るなど、可能であれば対応して頂きたいと思う。
→・次期の中期計画を設定する際に検討することとする。

- (2) 大学院の新研究科設置届について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【質疑応答】

- ・これまで存在していた情報、デザインの分野はどうするのか。
→・情報系の科目に関しては、学部と同じく経営に移行している。

- (3) 公立鳥取環境大学教授会規程の一部改正について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【質疑応答】

- ・学長の権限が強く表記されているように見えるが、学生の懲戒処分については、教授会の意見を聴取せずに、学長が処分を下すことができるのか。
→・本学では、学生の処分については、公立鳥取環境大学学生生活・就職委員会規程で明確な判断基準を設けている。
・教授会規程第1項は、あくまで教育研究に関する重要事項を限定列挙したもの。
- ・第2条第2項において、「審議し、」と「学長の求めに応じ、意見を述べることができる。」の間に敢えて「及び」という文言を入れた意味・必要性は何か
→・法の趣旨に基づき手入れを行い、改正案のとおり文言に手入れを行った。
「審議し、及び…」という言葉の意味の解釈について学内でも齟齬が生じないようにする。

3 報告事項

(1) 近況報告

資料に基づき報告があり、さらに学長より、補足としてスクールバスの今後の運営につき報告があった。

(2) 平成26年度決算について

資料に基づき報告があった。

【質疑応答】

- ・教育研究費が、予算よりも執行額が少なかった点について、研究が完遂できなかったためか。
→・個人研究費は、必ずしも全額執行されているものではないため、執行減となっていることや、BDF事業の打切りが予定されていることなども影響していると考えられる。
- ・学部・大学院教材費も予算より執行費が少なくなっており、教育研究に関する費用が全体的に少ない。教員が教材費等を効果的に運用できていないのではないか。
→・個人研究費は年間一人当たり35万円となっている。
 - ・研究費を翌年に繰り越せることもあり、次年度に大きな研究を控えている場合、それを見越していることもある。
 - ・効果的運用について今年度以降改善したい。

(3) 平成27年度補正予算について

資料に基づき報告があった。

(4) 地(知)の拠点大学(COC大学)への申請について

資料に基づき報告があった。

【質疑応答】

- ・計画が通った場合、今後予算的にはどのようになるのか
→・まず、鳥取大学がCOCに認められることが前提であり、その後、本学が参加校として認められると資料に記載の予算措置がとれる。

(5) 平成27年度公立鳥取環境大学特別研究費助成(学長裁量特別事業)の採択結果について

資料に基づき報告があった。

4 その他

大学の現状について口頭で以下のとおり報告があり、委員と意見交換を行った。

【内容】

- ・卒業して10年たっても活躍できる人材を育成したいと考えており、カリキュラムの改革を検討している。
- ・これまで行っていた一般教養では、力不足であると感じており、リベラルアーツのような形を検討している。
- ・教員を9人程度増員したいと考えており、カリキュラムに関して、設置者と人員強化ができるか、協議を進めていく予定。

【質疑応答】

- ・教員が9人増えると、教員一人あたりの学生数も下がるし、人件費がかなり上がることが考えられる。公立大学として、より地域の為に貢献することを考え、どういう学生を育てるのか、ということが課題となる。
 - ・経済学入門レベルの経済学をはじめ、10年経っても使える教養が必要と考える。

- ・貴学は「人と社会と自然との共生」を基本理念にしているが、大学として、この理念をどのように実現していくのか。
 - ・本学として、何が本当のエッセンスなのか。を明らかにしたい。